淡江大學中文系
四年級 孫薇婷
派遣校：麗澤大學

日本の環境保護政策についてのまとめ

日本は緯度が高い国なので、冬になるとよく暖房を使うことは日本人にとって、当然なことだと思います。

たくさん暖房を使うと、石油など化石燃料の燃焼によって排出される二酸化炭素がもたらす地球温暖化は、地球環境問題の中でも最も深刻と言われ、この対策として、電力などの省エネルギが日本ではなくて、全世界に対しても重要な課題となっています。

地球を守る意識を持っているので、近年、日本政府は省エネルギーの計画を推進します。具体的に言えば、全使用エネルギの約80%を占める電力使用量を削減するため、省エネルギ推進部会を設置し活動しています。

たとえば：「前年同月比１%減の消費量を目標に，ボイラー管理部局及び各部局等において具体的な節約方法を定めて消費節約に努めましょう。」(省エネルギー対策委員会）省エネルギー月間中は，できる限り通勤・通学に公共交通機関を利用するとともに，学内の移動にも自動車を使用せず，歩きましょう。日本政府は以上のようなキャンペーンを宣伝して大衆に知ってもらいます。皆は環境保護の意識を持って、日常生活には、できるだけ自分がエネルギーを節約すべき考えを抱いて実行します。

台湾人の私として　台湾政府の環境保護政策はやはり足りないと思います。私は台湾政府が日本の解決の方法を参考して、自分の国に相応しい解決の方法を考えてもらいたいと思います。